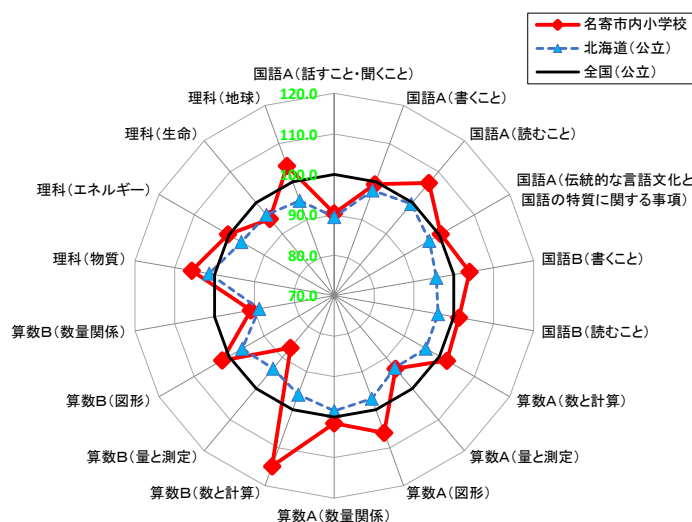


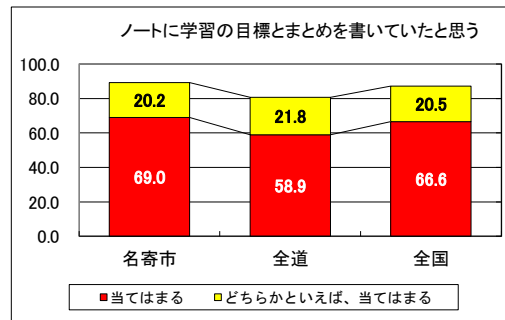
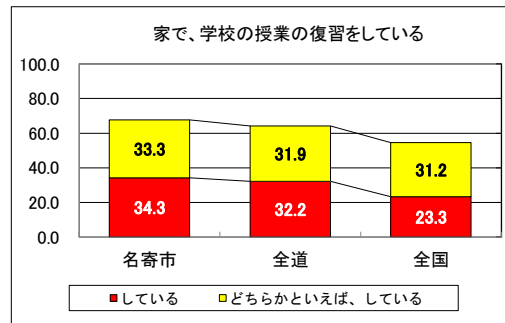
■名寄市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:213名)

【教科全体の状況】

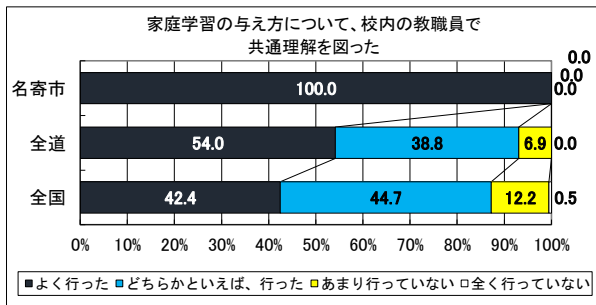
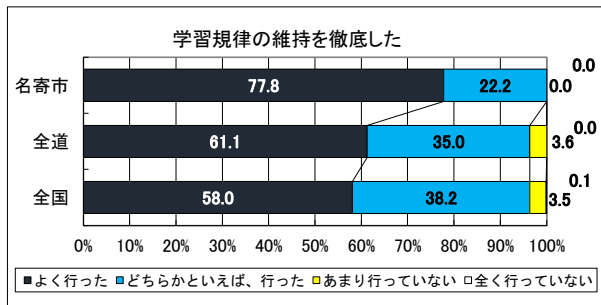
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 - 算数Aでは、「数と計算」、「図形」、「数量関係」、算数Bでは、「数と計算」、「図形」で全国を上回っている。 - 理科では、「物質」、「エネルギー」、「地球」で全国を上回っている。	- 授業において、見通しをもったり、振り返ったりする学習活動を行い、児童が主体的に取り組むための指導を充実させている。 - 学習規律の徹底を図り、児童が落ち着いて学習に集中できる学習環境を整えている。
児童質問紙	- 家で、学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合が、全国を上回っている。 - ノートに学習の目標とまとめを書いたと思うと回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	- 学習規律の維持を徹底していると回答した学校の割合が、全国を上回っている。 - 全ての学校が、家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていると回答している。	家庭と連携を図りながら、授業の内容と関連付けた宿題を与えたり、家庭学習の促進を図ったりすることを通して、学習習慣の確立や学習内容の定着を図る指導に努めている。

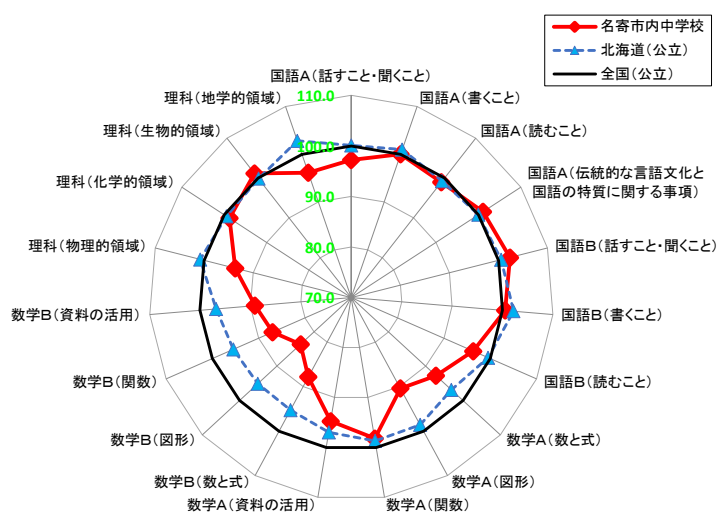
【名寄市の学力向上策】

- ◎ 「名寄市学習規律10項目」の策定など、名寄市教育改善プロジェクト委員会が中心となった学力向上の取組の推進
- ◎ 日常の授業における学級の友達と話し合う活動の充実
- ◎ 家庭と連携を図った宿題や家庭学習の取組を促す指導の充実

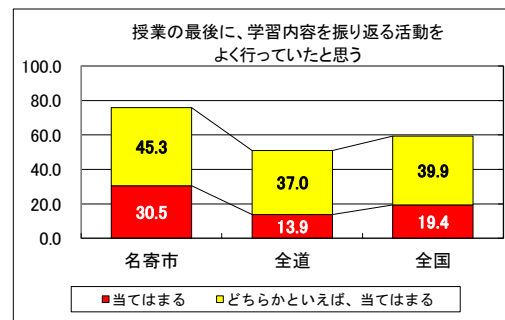
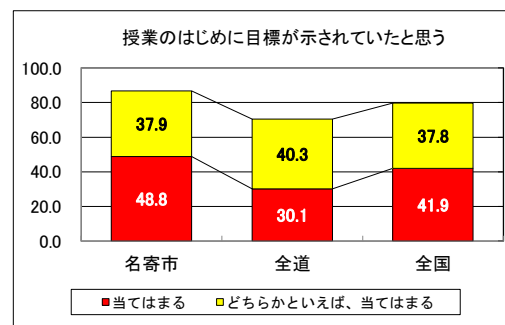
■名寄市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:204名)

【教科全体の状況】

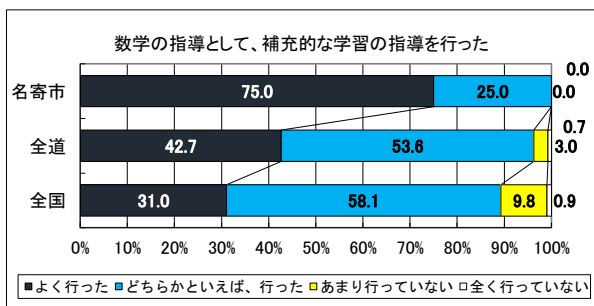
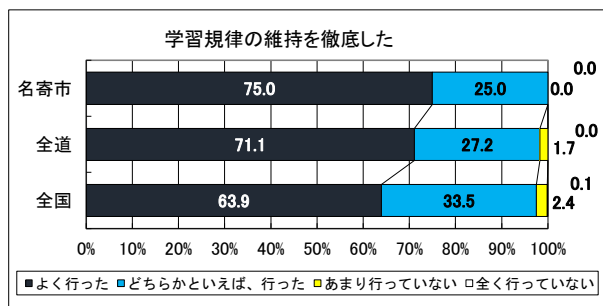
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」で全国と同様または上回っている。 ○ 数学Aでは、「関数」が、他領域と比べて、最も全国に近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国を上回っている。	○ 授業において、学び直しの時間を設定し、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、見直しをもったり振り返ったりする学習活動を行い、生徒が主体的に取り組むための指導を充実させている。
生徒質問紙	○ 授業のはじめに目標が示されていたと思うと回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うと回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 学習規律の徹底を図り、生徒が落ち着いて学習に集中できる学習環境を整えている。
学校質問紙	○ 学習規律の維持を徹底していると回答した学校の割合が全国を上回っている。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行っているという回答した学校の割合が、全国を上回っている。	○ 生徒のよい面や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価して指導の改善を行い、学習意欲の向上に生かしている。

【名寄市の学力向上策】

- ◎ 「名寄市学習規律10項目」の策定など、名寄市教育改善プロジェクト委員会が中心となった学力向上の取組の推進
- ◎ 日常の授業において、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする学習活動の徹底
- ◎ 家庭と連携を図った宿題や家庭学習の取組を促す指導の充実